

## 第1学年 国語科学習指導案

単元名 じどう車のすばらしいところを見付けよう 教材名「じどう車くらべ」

### 1 単元の目標

- いろいろな自動車に関心をもち、進んで読もうとしている。【関】
- 自分の好きな自動車について「しごと」と「つくり」のつながりを説明する文を書くことができる。【書】
- それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取ることができる。【読】
- 片仮名や漢字で書く語を正しく読んだり書いたりすることができる。【言】

### 2 指導と評価の計画

時間	○ねらい・学習活動	評価の観点				学習活動における具体的評価規準 ( )は評価方法
		関	書	読	言	
(二次) 1	じどう車のすばらしいところを見付けて、じどう車ずかんをつくる。 ○「じどう車ずかんをつくろう」という学習のめあてを知り、全文を読んで内容の大体をつかむ。 ・いろいろな自動車について知っていることを話したり、教材文の範読を聞いたりして関心をもつ。	○				・自動車について興味をもったことを短い言葉で話そうとしている。 (発言・観察)
(二次) 2	○それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。 ・バス・乗用車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。			○		・バス・乗用車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取っている。 (発言・ワークシート)
3	・トラックの「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。			○		・トラックの「しごと」と「つくり」のつながりを読み取っている。 (発言・ワークシート)
4	・クレーン車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。			○		・クレーン車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取っている。 (発言・ワークシート)
(三次)	○学習したことをもとに、はしご車や好きな自動車についてすばらしいところを見付け、文に書き表す。					

5	じどう車 ずかん をつくる。 じどう車 のすばら しいとこ ろを見付 ける。	・はしご車や好きな自動車のすばらしいところを見付ける。		○	・はしご車や好きな自動車のすばらしいところを見付けている。 (発言・ワークシート)
6		・はしご車の「しごと」と「つくり」のつながりを考えて文に書き表す。		○	・はしご車の「しごと」と「つくり」のつながりを説明する文を書いている。 (ワークシート)
7		・好きな自動車の「しごと」と「つくり」のつながりを考えて文に書き表す。		○	・好きな自動車の「しごと」と「つくり」のつながりを説明する文を書いている。 (ワークシート)
8		・自動車図鑑を完成させて読み合い、感想を書く。		○	・友達の図鑑のよいところを見付けて、感想を書いている。 (発言・観察)
9					

### 3 単元設定の理由

○ 本教材は、この時期の児童が興味・関心をもつ自動車を取り上げた説明的な文章である。読み取るための手助けとして挿絵が大きく掲載されている。挿絵をもとにすばらしいところを見付けて書きこみ、何のためにそのような「つくり」になっているのか児童の言葉で表現させることで、「しごと」と「つくり」のつながりに気づくことができるようにしたい。また、文章構成は、「問い→答え」となっており、答えの内容は、自動車の「しごと」と「つくり」という二つの関係で説明されている。一文が短く、問いと答えの文末表現が対応しているため、第三次で説明をする文を書く際の参考にすることができる。読み取りの学習を生かし、自分でもはしご車や好きな自動車のすばらしいところを見付けて文に書き表し、意欲的に「じどう車ずかん」を作ることができるようにしたい。

○

児童の実態については、省略しています。

○ 指導にあたっては、第一次では、教材文にある自動車だけでなく、知っている自動車について自由に話させ、児童の興味・関心を高める。そして「じどう車ずかん」を作ることを知らせ、目的をもって楽しく読み進められるようにする。

第二次では、教材文にある自動車について、挿絵からすばらしいところを見付ける。すばらしいところをたくさん見付けることができるように、シールをはったり書き込んだりしやすいワークシートを用意する。そして、すばらしいところをたくさん出し合いながら「しごと」と「つくり」のつながりに気付くことができるようにしたい。

第三次では、第二次の学習を生かして、はしご車や自分の好きな自動車について、すばらしいところを見付けて文に書き表す。できあがった作品は友達と読み合ったり、学校図書館に置かせてもらったりすることで、相手を意識できるようにする。

以上のように、本単元では、指導事項「読むこと エ」を受けて、「じどう車のすばらしいところを見つけて、じどう車ずかんをつくる」という言語活動を通して、本校の研究主題「主体的に読み、目的に応じて自分の言葉で豊かに表現する子どもの育成」に迫りたい。

#### 4 本時案（第4時）

本時の目標	クレーン車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取ることができる。
準備物	挿絵，ワークシート
児童の活動の流れ	教師の支援と評価
1 本時のめあてをつかむ。	○前時の学習を振り返り，本時はクレーン車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取ることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">クレーン車のすばらしいところを見つけよう。</div>	
2 クレーン車のすばらしいところを見付ける。	○はじめに数名の児童がクレーン車のすばらしいところを発表することで，全員が見通しをもって活動に入ることができるようにする。 ○すばらしいところにシールを貼ったり書き込んだりできるワークシートを使うことで，楽しみながら見付けることができるようにする。 ◆見付けにくい児童には，挿絵を指さしながらたずねることで，支援する。 ○時間を十分に確保することで，たくさん見付けることができるようにする。
3 「しごと」と「つくり」のつながりを考える。	○見付けたすばらしいところを出し合うことで，全員で共有することができるようにする。 ◎どうしてこのような「つくり」になっているのか，細いうではだめなのか等，挿絵を用いながら問うことで，「しごと」と「つくり」のつながりに気付くことができるようにする。 ○「○○だから。」等，短い言葉で言えたらよいことを伝えることで，自信をもって発表できるようにする。 ◆友達の発表と一緒にあったかを問うことで，自分の言葉で表現できにくい児童の支援とする。
4 本時のまとめをする。	○たくさん見付けたクレーン車のすばらしいところの中から，すばらしいところチャンピオンを見付けてワークシートに書くことで本時のまとめとする。 ○図鑑のカードが3枚できたことを称揚することで，達成感を味わうことができるようにする。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">クレーン車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み取ることができている。 (発言・ワークシート)</div>	
5 次時の学習を知る。	○次時は，はしご車と好きな自動車のすばらしいところを見付けることを知らせ，意欲を高める。

本時案（第7時）

本時の目標	自分の好きな自動車について「しごと」と「つくり」のつながりを考えて文に書き表すことができる。
準備物	ワークシート
児童の活動の流れ	教師の支援と評価
1 本時のめあてをつかむ。	<p>○本時は、自分の好きな自動車のすばらしいところを紹介する文を書くことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>すきなじどう車のすばらしいところをしらせるぶんをかこう。</p> </div>
2 「しごと」と「つくり」のつながりを考える。	<p>○どうしてそういう「つくり」になっているのか考えることで、書きこんだ「つくり」のなかで、「しごと」とつながりのある「つくり」に気づくことができるようにする。</p> <p>○見付けたすばらしいところの中からすばらしいところチャンピオンを見付けて印をし、文作りに生かすことができるようにする。</p> <p>○同じ自動車を選んでいる児童が近くになるよう座席を工夫し、互いにアドバイスをしながら活動することができるようにする。</p>
3 「つくり」を説明する文を書く。	<p>◎「つくり」について友達に言葉で伝え合うことで、すばらしいところをより確かに理解したり文に書き表したりすることができるようにする。</p> <p>○ワークシートに「しごと」や「そのために」を示しておくことで、文を作りやすくする。</p> <p>◆考えを文に表しにくい児童には、個別に声をかけたり、教材文をまねた簡単な文の組み立てを提示したりして、支援する。</p> <p>○早く書き終わった児童には、読み直しをしたり2枚目のカードを作ったりするように伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>自分の好きな自動車について、「しごと」と「つくり」のつながりを考えて文に書き表すことができている。 (ワークシート)</p> </div>
4 本時のまとめをする。	<p>○できあがった文を発表することにより、書くことができた喜びを味わうことができるようにする。</p> <p>○好きな自動車のカードをつくることができたことを称揚し、達成感を味わうことができるようにする。</p>
5 次時の学習を知る	<p>○次時は、自動車図鑑を完成させて読み合うことを伝え、意欲を高める。</p>